

TOKYO Night & Light

若き才能が最先端の技術と表現に挑戦！

次世代の映像制作の担い手となる学生が制作した プロジェクションマッピング4作品の上映を開始

東京都では、夜間の観光振興の活性化に向けて、東京の夜を彩る新たな観光資源を作るため、代表的なランドマークである都庁第一本庁舎をキャンバスに光と音で多彩なアートを表現するプロジェクションマッピングを通年で上映しています。

このたび、**3月27日（金）**より、映像制作の次世代の担い手となる学生が制作する新たなプロジェクションマッピング作品の上映を開始いたします。

本作品は、学生が国内外で活躍するトップクリエイターによる約3か月間の指導とサポートを受けながら、自由な発想と表現力によって制作しました。

若き才能が最先端の技術と表現に挑んだ作品をぜひご覧ください。

学生制作作品概要（4作品）

■上映開始日 3月27日（金）

■作品タイトル／制作チーム（所属）

『東京エレベーター』

Ctrl+（コントロールプラス）

（東京都立大学）

都庁舎の巨大な垂直構造を、地下深くから宇宙へと繋げる軌道エレベーターに見立てた作品



『Tokyo Crossing』

切子のkilliko（キリコのキリコ）

（東京造形大学）

都庁舎の幾何学的な美しさを江戸切子や水引などの伝統工芸と重ね合わせ、日本の「型」の美学を映像で表現した作品



『巡りゆく季節』

Smiley Progress

（スマイリープログレス）

（東京コミュニケーションアート専門学校）

四季の巡りにスポットライトを当て、日本の季節の風物詩をモチーフに表現した作品



『Hand「Restructure」』

RinKamitani（リンカミタニ）

（ドルトン東京学園高等部）

巨大建築を「物質」として扱い、触覚的な錯覚と光の干渉によって、都市を「体感できる存在」へ変質させることを試みた作品



■上映時間

～3月31日（火）：18時30分／19時30分／20時30分／21時30分

4月1日（水）～：19時00分／19時30分／20時00分／20時30分

※各作品は平日に1日1回上映予定です。詳細は特設サイトをご覧ください。

※プロジェクションマッピングは上記以外にも様々な作品を上映しています。

若手クリエイターの育成について

■TOKYO Night & Lightを若手クリエイターの育成・作品発表の場として活用

プロジェクションマッピング等の映像制作への関心が高く、次世代の担い手となる学生を対象に、プロジェクションマッピングの制作経験が豊富なトップクリエイターから約3か月間にわたる指導とサポートを経て制作した作品を披露いたします。

■実施内容

- ・企画立案、映像制作、制作内容についての講義
- ・映像表現についてのオンライン指導
- ・作品制作に対する伴走型のサポート
- ・映像や音響に対する現地でのフィードバックなど

■講師陣

- ・早川 正祐 (ULTRA PLANET)
- ・西郡 勲 (SMALT co.,ltd.)
- ・橋本 大佑 (LIL Visual Arts Studio)
- ・岡 翔三郎、河上 裕紀 (alumni)



東京都庁舎プロジェクションマッピング「TOKYO Night & Light」の概要

- 開催日 荒天時等を除き、毎日上映
- 投影面 東京都庁第一本庁舎 東側壁面
- 観覧場所 都民広場 (東京都新宿区西新宿2-8-1)
- 上映時間 18時30分/19時/19時30分/20時/
20時30分/21時/21時30分

(3月は上記の時間に上映します。)

以降の詳細なスケジュールは特設サイトをご覧ください)

<https://tokyoprojectionmappingproject.jp>

- 主催 東京都、東京プロジェクションマッピング実行委員会
- その他 本事業では環境に配慮した取組を進めています。
(グリーン電力の使用)

本取組は「最大の建築物へのプロジェクションマッピングの展示(常設)」としてギネス世界記録™に認定されています。



↑特設サイト